説明会における質疑の概要について

パブリックコメントでの御意見の参考としていただけるよう、10月14日（土）、15日（日）に開催した説明会でいただいた質疑の概要を掲載します。

	質問（要旨）	回答（要旨）
1	パブリックコメントの実施後、どのように進めていくのか。	今後は、パブリックコメントでの御意見を参考に最終案を策定して、府議会等で報告した上で、府教育委員会で決定します。この基本計画は改革についての基本的な方針を示すものであるため、具体的実施内容については、地域別等の実施計画を順次示していきたいと考えています。 なお、詳細の日程については未定ですが、実施計画の公表にあたっては、説明会の実施も計画したいと考えています。
2	京都府立大学の附属高校化は、対象校等は決定しているのか。	今後の計画で明らかにします。 なお、中間案のとおり、農林業系専門分野で附属高校化することとして、大学側との検討を進めています。
3	学校施設・設備への投資が不十分だと思う。また、安心な教育環境のためにも、耐震化の視点からの設備投資も必要と思うが、どのように考えるか。	学校施設・設備の整備は安全かつ快適な教育環境確保のための重要な要素の一つとして考えており、御意見を踏まえ、検討します。
4	高校2年生以降では学校に対する感じ方が変化するので、高校生へのアンケート調査の対象を1年生以外にも広げる必要があるのではないのか。 また、アンケート調査結果はどこで閲覧できるのか。	アンケート調査は、府立高校選択時及び高校入学時の状況を知るために実施していることから、毎年1年生を対象にしています。 今後はいただいた視点を参考に、検討していきたいと考えます。 なお、過去の調査結果については、府教育委員会HPに掲載しています。 (参考) R3： 資料1（アンケート調査結果）.pdf (kyoto-be.ne.jp) （「府立高校の在り方ビジョン（仮称）検討会議」資料） R4： （別冊3資料）アンケート結果.pdf (kyoto-be.ne.jp) （「魅力ある府立高校づくり懇話会」資料）

	質問（要旨）	回答（要旨）
5	校則や制服の見直しなど、生徒の主体性や自己肯定感を高める視点は含んでいるのか。	<p>どの学校にも共通して必要な地域との連携、生徒の主体性の尊重などの教育内容面の充実などについては、上位計画の「府立高校の在り方ビジョン」でお示ししています。</p> <p>なお、今回の基本計画は学校・学科の配置の在り方などについての基本的な方針をお示しするものです。</p> <p>（参考）府立高校の在り方ビジョン kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/wp-content/uploads/2023/02/全体版.pdf</p>
6	魅力ある府立高校づくりには、教員体制の充実や資質向上が重要である。この計画には、現場の教員やスクールカウンセラーの充実なども含んでいるのか。	<p>上位計画の「府立高校の在り方ビジョン」でお示しているとおり、教員の資質向上や、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの充実なども図っていきたいと考えています。</p>
7	高校の教員数やスクールカウンセラー、AETの配置人数等が足りないと考える。特に、AETの配置時間が少ないため、学年によってはAETによる授業が受けられないほか、スクールカウンセラーが1人だと相性が合わない場合もある。これに対して、どのように考えているのか。	<p>府立高校では、1年生の募集定員により基本的な教員の数が決まるほか、学校の特色等に応じた教員の加配などもあります。</p> <p>そうした基準に則った教員配置や、各学校での工夫など、教員配置の充実については、今後も取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、スクールカウンセラーについては、学校配置のスクールカウンセラーだけでなく、関係機関のスクールカウンセラーも活用可能です。</p>